

行政報告

(令和 8 年第 4 回定例会【6月】提出)
安芸太田町

1 組織・体制について【総務課】

令和8年度の体制について、令和7年度中に5名が退職する一方、4月1日には国からの割愛採用を含めて5名が新たに本町職員として加わりました。

これにより、定員管理上の職員数は、年度末の136人から139人になりました。

また、令和8年度採用の4名と、令和7年度途中で採用した職員5名の計9名を対象に、今年も1泊2日の新人研修をいこいの村で開催し、本町の公務員としてのあり方や行政の基礎などについて、本町独自の研修を実施しました。

2 総合教育会議の開催について【総務課】

4月14日に、令和8年度第1回安芸太田町総合教育会議を開催し、「教育大綱」の進捗状況及び、教育委員会の新年度の取り組みについて協議を行いました。

委員の皆さんとは、自然保育活動「もりみん山のこども園」の取り組みについて、現場がかなり盛り上がっていること、この流れを小中学校への波及させたい、等の意見交換を行いました。引き続き、保護者、地域の皆さんにご理解をいただきながら、本町らしい教育の実現を後押ししてまいります。

3 防災減災について【総務課危機管理室】

3月16日、廿日市市と広域避難受入れの協定を締結しました。これは、本町坂原地区については広域避難所である筒賀福祉センターまでの移動距離が長く、道中の被災リスクの懸念があったため、「より安全な避難」を確保する観点から、廿日市市の吉和ふれあい交流センターへの避難も可能とするものです。

また、4月1日から広島市消防管内においても林野火災に関する注意報、警報の運用が施行されたことから、消防団と連携して防火啓発に努めてまいります。

さらに、5月29日からは新たな気象情報の運用が開始されておりますので、従前の気象情報との変更点等に関して、町民への周知に取り組んでまいります。

4 地域通貨 morica の運用について【企画 DX 課・産業観光課】

令和7年度の地域通貨「morica」の利用状況は、年間チャージ額が3億2,466万円（対前年25%増）、年間利用額が4億1,379万円（対前年14%増）とそれぞれ増加しました。この増加傾向は、今年度4月以降も続いており、地域経済の活性化に着実に寄与しているものと評価しています。

また、2月6日に1万円分のmoricaマネーを全町民に給付した「物価高騰対応生活応援給付金」については、5月末時点で約85%の給付金が利用されています。

7月末の利用期限を過ぎると失効するため、期限までの利用促進に向けた周知を徹底してまいります。

5 町内公共交通の利用状況について【企画 DX 課】

令和7年度のデマンド型乗合タクシー「もりカー」の利用状況は、年間利用者数が延べ28,015人と、対前年5%増と好調ではありますが、相乗り率は11.4%で対前年1.4ポイント減となりました。この状況を改善すべく、今年度は「乗り合い割引制度」の予算を計上しているところですが、その早期実施に向けて調整を進めてまいります。

また、夜間の移動手段の確保を目的として令和8年5月1日から毎週金曜日に運行を開始した「定額ライドシェア」については、5月の運行日（計5日間）において、3便を運行し、延べ4人の利用がありました。今後、さらなる利用促進に向けて、運行日の拡大などについて運行事業者と連携して取り組んでまいります。

6 地域おこし協力隊について 【地域協働課】

4月1日付けで新たに3名の協力隊が着任しました。活動内容は、林業分野（自伐型林業）、温井ダムを拠点とした体験型観光の推進、キハ58の再生保存と地域活性化に取り組んでいきます。この度の新任隊員を合わせ、現在9名の協力隊員が町内各所で活動を行っています。

7 税務行政の推進について 【税務住民課】

令和7年分の確定申告を町内17会場で行い1,283件の申告を受付けました。この申告に基づき令和8年度町県民税の賦課作業を行い、納税通知書を発送します。

また、軽自動車の登録に基づき軽自動車税納税通知書を、土地・家屋の評価、償却資産の算定に基づき固定資産税納税通知書をそれぞれ発送しました。

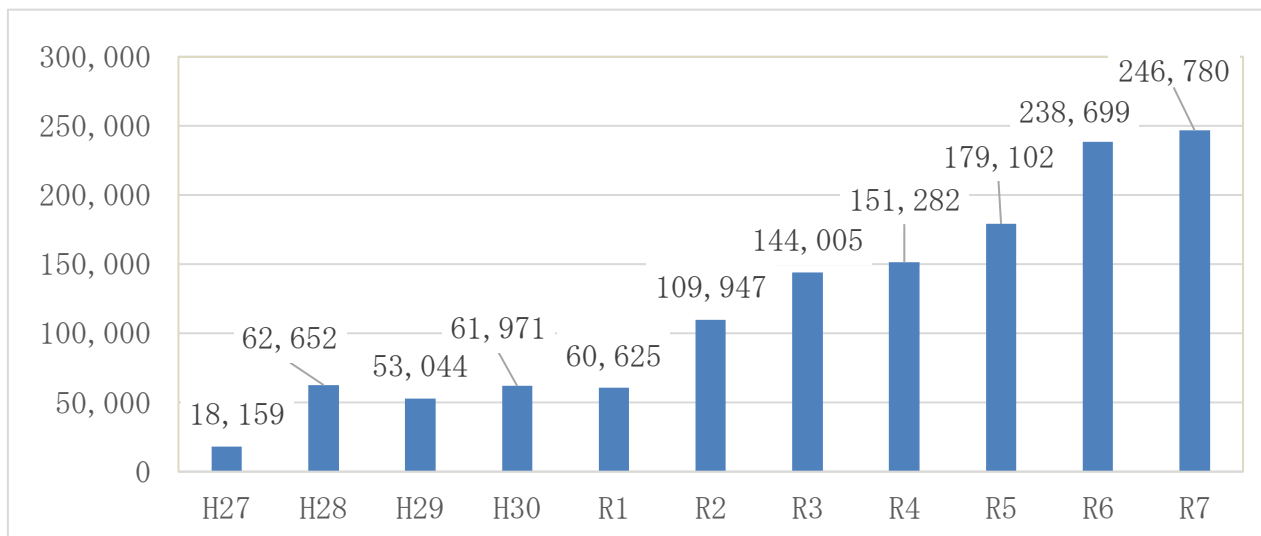
8 ふるさと納税の推進について 【税務住民課】

令和7年度の「ふるさと納税」が2億5,258万円となり過去最高を更新しました。内訳は、「ふるさと応援寄附金」が1万7,068件の2億4,678万円、「企業版ふるさと納税」が7社から580万円のご支援・ご賛同をいただきました。

ふるさと応援寄附金の推移、人気返礼品の状況は次のグラフ・表のとおりです。

○ ふるさと応援寄附金の推移

(単位：千円)



○ 返礼品の上位10品目

(単位：千円)

No.	返礼品名	寄附金額
1	【海苔の三國屋】焼寿司海苔 優上 焼のり 50枚(10枚×5袋詰)	103,362
2	【海苔の三國屋】味のり旭 (8切56枚) 6本セット	28,369
3	広島で行列の出来るたい焼き屋「よしおのたい焼き」(10個入り)	21,539
4	【海苔の三國屋】うみべのしおのり(10切80枚) 6本セット	13,904
5	ブレンドッドジャパニーズウイスキー戸河内4本セット	13,130
6	広島で行列の出来るたい焼き屋「よしおのたい焼き」(20個入り)	8,892
7	戸河内ウイスキー飲み比べセット(PREMIUM・PEATEDCASK)	8,550
8	海苔の三國屋の焼寿司海苔 超特撰 焼のり 30枚(10枚×3袋詰)	7,560
9	ブレンドッドジャパニーズウイスキー戸河内 PREMIUM、HIROSHIMA 2本セット	5,267
10	ブレンドッドジャパニーズウイスキー戸河内 PREMIUM 700ml	4,200

9 安芸太田町神楽振興について【産業観光課】

5月13日、安芸太田町神楽協議会総会が開催され事業計画などが承認されました。今年度は7月4日（土）に兵庫県西宮市を会場に「ひろしま神楽関西公演 in 西宮」が予定され、本町からは津浪神楽団が出演するほか、秋にも県外公演を予定しています。また、広島県の宿泊税を活用した補助金（市町提案分）の採択を受け、今年度は各神楽団の衣装の更新補助を行う予定です。

10 三段峡開峡について【産業観光課】

4月15日、三段峡は開峡し、5月連休は多くの方が来訪されました。近年は、遊歩道の一部通行止めにより来訪者が減少傾向にあります。管理者の広島県へは引き続き早急な復旧整備を要望しているところです。

また、今年度は宿泊税を活用した補助金の市町提案分の採択を受け、多言語化を含めた説明用QRコード等の新設及び更新など、外国人旅行者も含めた観光客の三段峡内での快適かつ円滑な移動や滞在のための環境整備を行う予定です。

11 「トレイルヘッドあきおおた」推進事業（仮称）について【道の駅推進チーム】

従来より、やまがたサイクルランドやMTB向けのガイド人材の育成など、サイクルツーリズムの推進に向けた取り組みを重ねて参りましたが、より包括的かつ戦略的な取り組みにすべく、県の宿泊税を活用した補助金の市町提案分の採択を受け、今後は「トレイルヘッドあきおおた」推進事業(仮称)として、活動を強化してまいります。

具体的には交流人口の拡大に向けたサイクリング拠点基本構想の検討や里山を生かしたサイクリングをテーマとしたコースの開発、電動アシストマウンテンバイクのツアー造成に向けたツアー開発及びガイドの育成、認知度向上のための新たなコースでのマウンテンバイクイベントの開催などを行ってまいります。

12 道の駅再整備事業について【道の駅推進チーム】

5月からの本体事業の建設工事の着工を踏まえ、バス停移設、町道の通行止め、駐車場の利用規制等について、周辺の住民、企業へ個別に説明するほか、町民や来町者に対して、広報やSNS、案内看板等による周知を行い、住民生活等への影響が最小限となるよう「ゲートステーションあきおおた（SPC）」と調整のうえ進めています。

また、これら事業の進展に伴い、太田川産直市が4月4日、JA広島市戸河内支店が4月20日に、それぞれ仮店舗での営業を開始されており、順次、既存建物の解体作業が進んでいます。

更に産直市については、道の駅リニューアルオープンに向けた販売体制の強化及び農業活性化のため、新規出荷者登録を増やすキャンペーンや生産者の営農を直接指導するアドバイザーの配置を予定しています。

13 道の駅再整備後の出店者募集説明会の開催について【道の駅推進チーム】

4月27日、5月13日に、道の駅再整備後のテナント出店者を募集するための説明会が開催され、合わせて42名の方に参加いただきました。

説明会では、SPCから具体的な出店条件等が示され、出店条件に関する質問の他、目標である100万人来場達成に向けた取り組み等について質問があり、説明会後のアンケートでは、出店に向けて意欲のある店舗もありました。

今後はSPCより、主に町外の事業者への出店の勧誘等が行われ、今年の秋頃には出店者が選考される予定です。

14 水道料金改定の周知について【建設課】

今年8月の検針分から適用される水道料金の改定について、周知用のチラシを作成し、5月の納付書に同封しています。また、今回の改定で特に負担が増加する口径40mm以上の水道使用者に対しては、別途、個別に送付しています。

なお、料金改定の詳細は町公式HPにも掲載し、丁寧な広報に努めてまいります。

15 安芸太田町新型インフルエンザ等対策行動計画について【健康福祉課】

本計画は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、将来の未知の感染症危機へ備えるために平成27年に策定したものです。その後の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等の経験を踏まえ、令和7年度末に見直しを行ったものです。計画の骨子は次のとおりです。

(1) 基本戦略と方針

感染拡大を抑制して流行のピークを遅らせ、医療提供体制の限界を超えないようにすることで町民の生命を守るとともに、社会経済活動とのバランスを考慮し、住民生活や経済への影響を最小化することを目指します。

(2) 発生段階に応じた対応

平時の「準備期」から、迅速に有事の体制へ移行する「初動期」、そして「対応期」へと段階的に切り替えます。対応期では病原体の性状に応じた封じ込めや、ワクチン・治療薬の普及、最終的な基本的対策への移行など、状況に合わせた柔軟な対策を選択します。

(3) 役割分担と連携体制

迅速なワクチン接種体制の構築、要配慮者への生活支援、確実な情報提供及び関係者間で正確な情報を共有し、対話や意見交換を行います。あわせて、県（ひろしまCDC）や近隣市町、医療機関と緊密に連携協力し、全庁体制で的確に対策を推進してまいります。

16 「安芸太田町物価高対応子育て応援手当」の支給について【健康福祉課】

昨年末に成立した補正予算のうち、「物価高対応子育て応援手当」について、本町では無事支給が完了しました。支給実績については、次のとおりです。

(1) 支給対象者

○令和7年9月分の児童手当受給者

○令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童に係る児童手当受給者（0歳から高校生年代までの児童を養育する世帯）

(2) 支給額 児童1人あたり 20,000円（現金）

(3) 支給実績

区 分	受給者数	児童数	支給額
一般受給者（町支給分）	199人	365人	7,300,000円
公務員受給者	59人	122人	2,440,000円
計	258人	487人	9,740,000円

17 安芸太田ウォーキング大会 in 深入山「もみじウォーク」【健康福祉課】

本年で第20回の節目を迎える、安芸太田ウォーキング大会 in 深入山「もみじウォーク」については、本年4月に公募型プロポーザル方式により委託業者を選定し、7月の参加者募集開始に向けた準備を進めています。

本事業については、県の「わがまち♡スポーツ補助金」が昨年度をもって終了したた

め、財源の確保が急務となっておりますが、今回の受託事業者である広島ホームテレビ様の提案では、企業版ふるさと納税を充てることとされ、その協賛パートナーの開拓については、同社の、広告収入を獲得してきたノウハウを活用することとされています。

また、同社の受託事業により、これまで以上にメディアを活用した集客も見込めるところであり、参加者 1,000 人（うち町民参加者 100 人）の目標を達成し、持続可能な大会となるよう、万全の態勢で取り組んでまいります。

18 古紙類無料回収ステーション及び小型電化製品無料回収ボックスの設置について

【衛生対策室】

3月24日から加計体育館前に古紙類無料回収ステーションを設置し、5月までで3,480kgの回収を行いました。

なお、デザインを提供いただいた加計高校美術部には4月27日に感謝状を贈呈しています。

また、3月15日から小型家電製品及び乾電池の無料回収ボックスを町内3箇所で1ヶ月間巡回設置する試みを実施しており、川・森・文化交流センター及び地域支援センターにおいて小型電化製品122kgと乾電池30kgを回収しました。現在は3箇所目である筒賀支所に6月25日まで設置しております。

19 小・中学校、保育所・こども園の現況について【教育課】

令和8年度の小・中学校、保育所・認定こども園の児童・生徒・在園児状況は次のとおりです。 (令和8年5月1日現在)

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計(人)
加計小学校	9	12	17	21	16	17	92
筒賀小学校	3	2	7	6	6	7	31
戸河内小学校	5	9	7	7	9	10	47
合計	17	23	31	34	31	34	170

	1年生	2年生	3年生	合計(人)
加計中学校	19	14	16	49
安芸太田中学校	18	15	16	49
合計	37	29	32	98

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計(人)
認定こども園とごうち	1	5	2	6	9	7	30
加計認定こども園あさひ	0	4	8	2	4	5	23
筒賀保育所	1	1	0	1	2	2	7
修道保育所	0	0	3	0	0	0	3
合計	2	10	13	9	15	14	63

20 自然保育（森のようちえん事業）の取り組みについて【教育課】

令和7年度に「ひろしま自然保育認証制度」の認証を受けた、「もりみんな山のこども園～こもれびの森秘密基地～」ですが、令和8年度はさらなる深化を図っているところです。

春には地域の田んぼをお借りしての泥んこあそび、田植え体験、高齢者との交流など

を行いました。また、今年度予算でお認めいただいた各園庭の整備について、保護者やボランティアの力を借りて実施したところです。

また、この特徴的な取り組みについて町外の方々に知っていただくため、公式サイト等に加え、マスコミ等も使った情報発信を行うとともに、今年取り組む予定の「子育て世代全力応援あきおたツアー」との連携なども図ってまいります。

21 加計高校支援について【教育課】

4月6日、加計高校の第78回入学式が行われました。

現在の総生徒数は114人で、本年度の1年生の内訳としては、町内中学校が19人、県内から14人、県外が8人となっています。

引き続き「生徒寮、公営塾、クラブ活動支援、教育支援等」を推進し、全国の中学生から選ばれる高校をめざし、魅力向上のための取組を支援します。

(令和8年5月1日現在)

区 分	1年生	2年生	3年生	合計(人)
加計高校生徒数	41人	37人	36人	114人
うち寮生	21人	19人	14人	54人

22 安芸太田病院の医療提供体制等について【病院事業】

令和8年4月に当院では、整形外科医師1名と内科医師3名の交代がありました。現在の常勤医師は9名で、うち1名が育児休業明けの短時間勤務となり、昨年より1名減の体制で運営しております。

また、令和7年度途中から副看護部長は2名体制としており、看護部の運営体制を強化したところであり、地域の皆様が安心して安全な医療を受けられるよう、体制を整えてまいります。